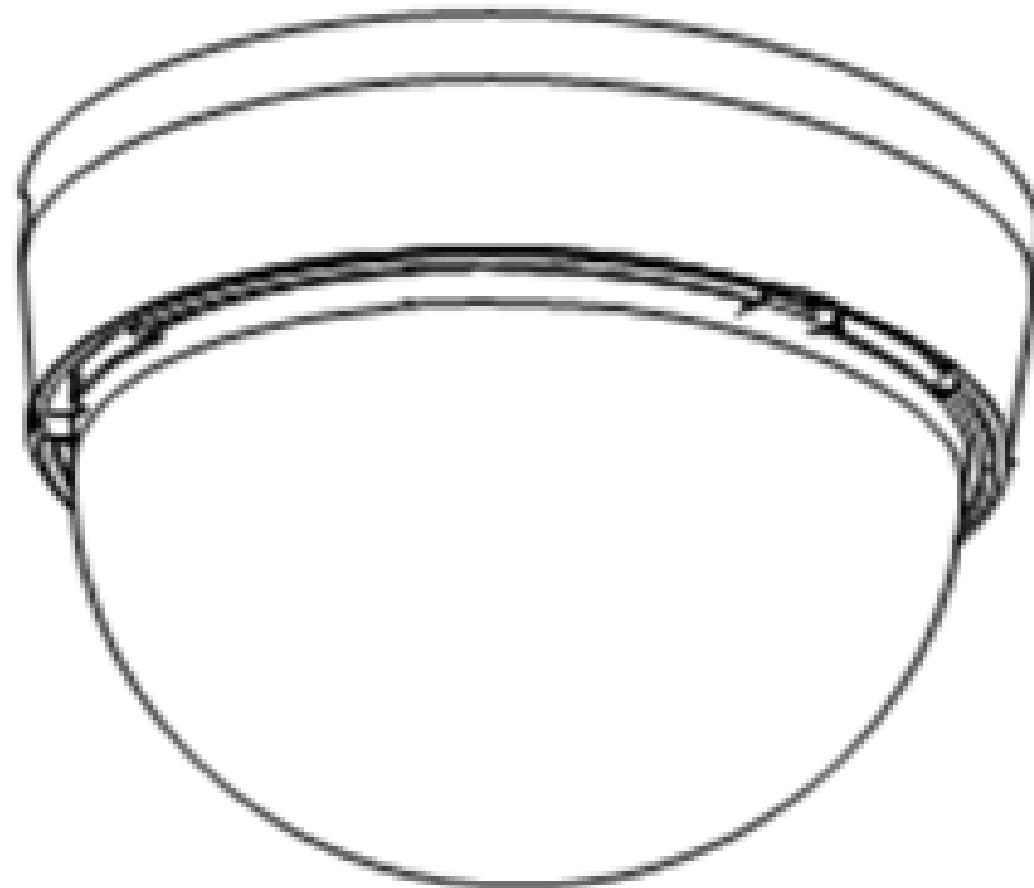


取扱説明書

HD-TVI 5M/4Mドーム型カメラ

SCD-T1450



このたびは、HD-TVIドーム型カメラをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管してください。
保証書には必ず必要事項を記入してください。

免責について

本製品は、映像監視を目的とするものであり、発生した事故・損害等を補償するものではありません。

お客様による商品の分解、修理または改造を行われた場合もしくは、保証書に記載される保証対象外となる条件に適合する場合は、保証期間内であっても有償修理の対象になる場合があります。

個人情報の保護について

本製品にて撮影された個人を判別できる映像情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。

映像情報については、適正にお取り扱いください。

安全上のご注意

ご使用の前にこの欄を必ずお読みになり、正しくお使いください。

この欄の注意事項は、ご使用になる人や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災、感電などにより、死亡または重傷などを負う危険性が想定される内容です。



注意

誤った取り扱いをすると、人が損害を被る可能性が想定される内容および、物的損害の発生が予想される内容を示しています。

絵表示の例



分解禁止



接触禁止



禁止

してはいけない「禁止」内容です。



強制



必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

工事は販売店に依頼する

工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物破損の原因となります。

必ず販売店に依頼してください。



強制

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災、感電、故障の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り販売店にご相談ください。



禁止

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。

内部の点検は、販売店にご依頼ください。



分解禁止

雷がなりだしたら本体、ケーブル、電源プラグなどには触れない。

感電の原因となります。



接触禁止

異常があるときは、すぐに使用をやめる

煙が出ている、変なにおいがする、落としたりケースを破損した、接続ケーブルが傷んだ、画面が映らないなどの場合は、すぐに使用をやめ、販売店にご連絡ください。



強制

振動のないところに設置する

取付ねじやボルトがゆるみ、落下などの事故の原因になります。



強制

設置場所の強度を確認する

取付金具を含む質量に十分耐えられる強度のあるところに設置してください。

十分な強度がないと、落下などの事故の原因となります。



強制

塩害や腐食性ガスの発生するところに設置しない

取付部が腐食して、落下などの事故の原因となります。



強制

注意

配線は電源を切ってから行う

感電の原因となります。また、ショートや誤配線により火災の原因となります。



強制

ぶら下がらない、足場代わりにしない

落ちたりしてけがの原因となります。



禁止

定期的な点検をする

取付部の劣化などにより、落下などの事故の原因となります。

定期点検は、販売店にご依頼ください。



強制

使用上のご注意

長時間ご使用いただくために

周囲温度-10～+50°C（推奨温度40°C以下）、湿度80%以下（結露なきこと）の場所でお使いください。

清掃は、乾いた柔らかい布で拭いてください。

※シンナー・ベンジン・化学雑巾などは使用しないでください。変形・変色などの原因になります。

強い光にカメラを向けないでください。

画面にスミア・ハレーションなどを生じさせることができます。またCCDを劣化させ、撮影画像が変色することがあります。

レンズの清掃

レンズクリーニングペーパー・レンズクリーニング液などを使用してください。

設置上のご注意

十分な強度のある場所に取り付けてください。

落下、破損の原因となることがあります。強度が不十分な場所に取り付ける場合、十分な補強を施してください。

ネジやボルトはしっかり締め付けてください。

傾きや落下の原因となることがあります。

動体検出機能について

本機に搭載されている動体検出機能は、一般に設定エリア内の輝度変化を感知して検出する機能です。以下のような場合、感知しにくい、感知しない、誤動作などが発生する場合があります。

- ・低照度環境での撮影
- ・被写体の動きが遅い
- ・車のヘッドライトなど、外光が入る可能性のある環境
- ・蛍光灯など、照明のチラつきがある環境
- ・樹木など風で動きが発生する可能性のある環境

動体検出機能を使用する場合は、十分な運用テストを行いながら設定してください。誤動作が問題となる場合は、外部センサーのご使用をお勧めします。

目次

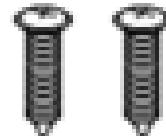
個人情報の保護について	2
安全上のご注意	2
使用上のご注意	4
設置上のご注意	4
目次	5
1. 製品特長	6
2. 同梱品の確認	7
3. 各部の名称	8
4. 設置方法	9
4-1. 配線	9
1) 電源重畠の場合（専用駆動ユニットからカメラに電源供給する場合）	9
2) 電源別送の場合（電源アダプターからカメラに電源供給する場合）	9
4-2. 設置	10
4-3. 出力信号切替	12
5. OSD メニュー	13
5-1. OSD メニューの起動/ボタン操作	13
5-2. OSD メニュー一覧	14
5-3. OSD メニュー項目と初期値一覧	15
5-4. OSD メニュー設定	17
①フォーカス検出	17
②レンズ	17
③露光	18
④HDR/逆光補正	19
⑤ホワイトバランス	21
⑥DNR	22
⑦デイ/ナイト	23
⑧イメージ	24
⑨効果	25
⑩システム	27
⑪終了	28
6. 故障かな？	29
7. 仕様/外形寸法図	30

1. 製品特長

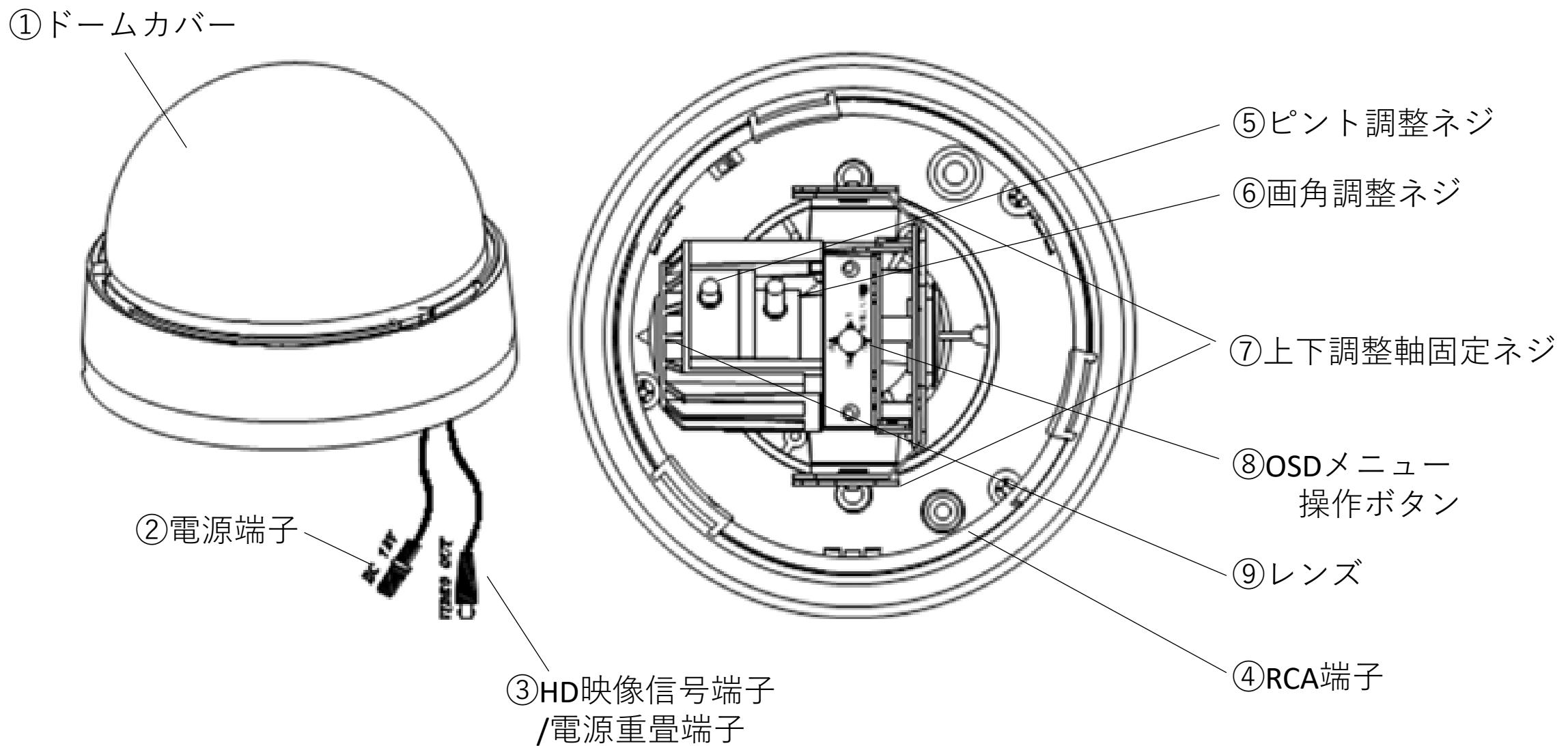
- 約500万画素の高画質1/2.8型 Sony STARVIS Sensorを搭載
HD-TVI方式・2560×1944(4:3)、2560(水平)×1440(垂直) 16:9の映像を実現。
※対応レコーダーのみ
- HD-TVI の他、AHD、NTSC 方式に切り替え対応
※既設のSDアナログ(NTSC) のレコーダ、分割器等と組み合わせて使用される場合は、
NTSC (CVBS) に設定してご使用ください。
- 電源重畠／別送式、いずれのシステムにも対応 ※同時併用はできません。
電源重畠式は同軸ケーブル一本で映像出力・電源供給が行えます。

2. 同梱品の確認

カメラ本体に加え、以下の同梱品が入っていることをご確認ください。

クイックインストレーションガイド（1部）	
安全上のご注意（1部）	
保証書（1部）	
タッピングビス（2本） カメラ本体の天井・壁面への取り付けに使用します。	

3. 各部の名称



①ドームカバー	カメラを覆うドームカバーです。
②電源端子	電源別送の場合、DC12Vを接続します。 ※電源重畠とは併用しないで下さい。故障の原因となります。
③HD映像信号端子/電源重畠端子(BNC)	HD-TVIの映像信号を出力します。 BNCコネクタの同軸ケーブルを接続します。 設定変更により、CVBS/AHDの映像信号も出力可能です。 【参考】 <ul style="list-style-type: none">電源別送の場合は映像信号のみが出力されます。電源重畠の場合は映像信号と電源が重畠します
④RCA端子	現場調整用のアナログの映像信号を出力します。 【使用上のご注意】 アナログ信号端子(RCA)からアナログ信号を出力する時はHD映像出力端子で出力信号をCVBSに設定してください
⑤ピント調整ネジ	レンズのピント調整に使用します。
⑥画角調整ネジ	レンズの画角調整に使用します。
⑦上下調整軸固定ビス	上下方向の調整を固定するネジです。
⑧OSDメニュー操作ボタン	OSDメニューの設定に使用します。
⑨レンズ	バリフォーカルレンズ ($f = 2.8 \sim 12 \text{ mm}$) です。

4. 設置方法

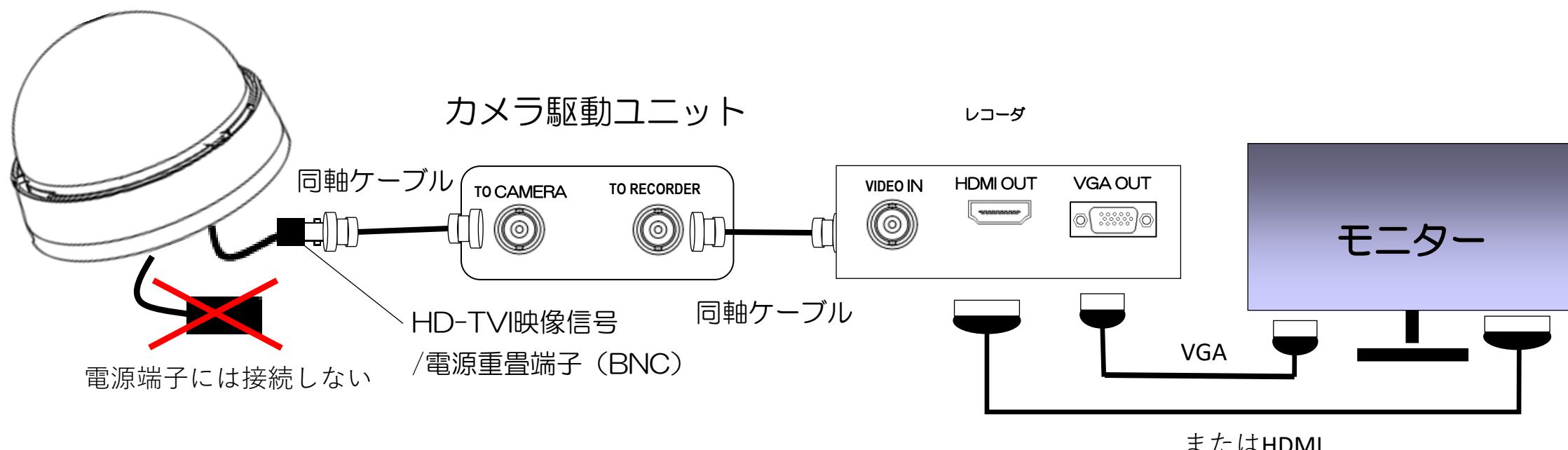
4-1. 配線

1) 電源重畠の場合（専用駆動ユニットからカメラに電源供給する場合）

[HD映像信号端子/電源重畠端子（BNC）]と専用のカメラ駆動ユニットをに同軸ケーブルを接続し、同様にカメラ駆動ユニットとレコーダを接続してください。[電源端子]は使用しません。

レコーダとモニターはVGAやHDMIケーブルで接続してください。

（※対応カメラ駆動ユニット及びレコーダ： SPU-T43, STR-2504他）



【使用上のご注意】

- ・電源重畠と電源別送とは併用しないでください。故障の原因となります。
 - ・カメラ駆動ユニットの端子表示をよく確認してから接続してください。
- ＜ご注意＞ 誤接続は、レコーダの故障の原因になります。

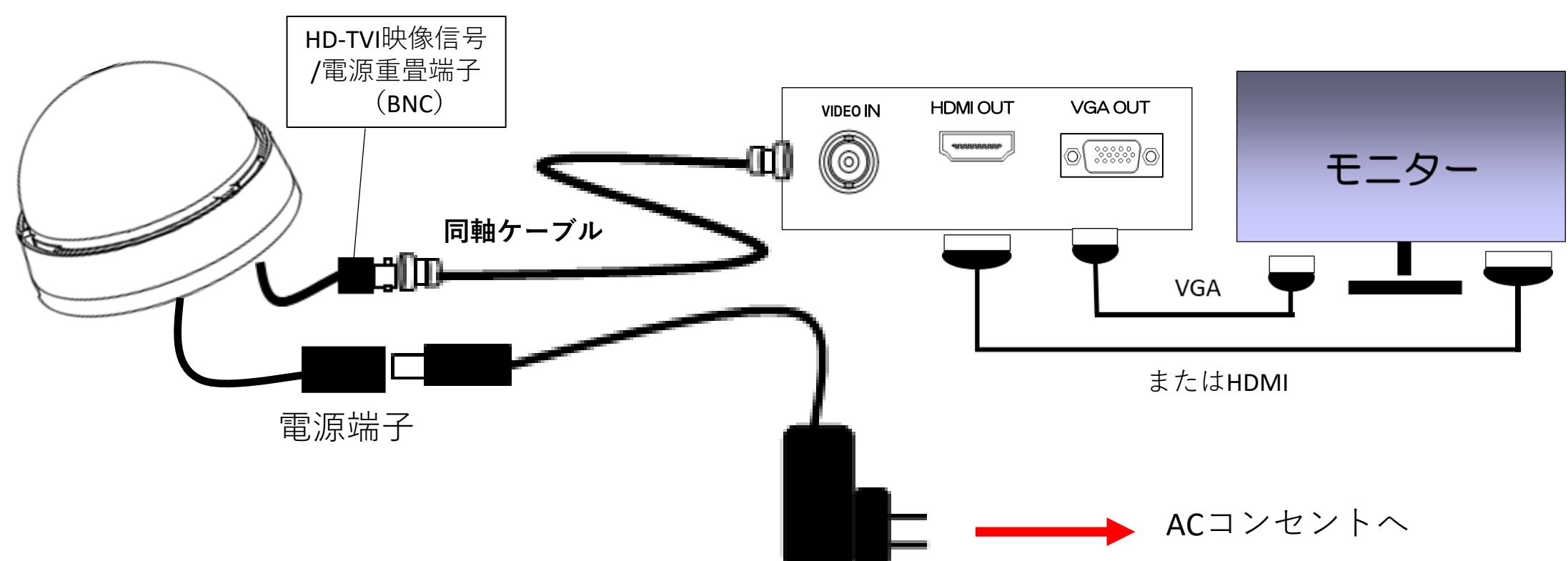
2) 電源別送の場合（電源アダプターからカメラに電源供給する場合）

[HD映像信号端子/電源重畠端子（BNC）]に同軸ケーブルを接続します。同軸ケーブルからは映像信号が出力されますので、レコーダー経由（HDMIケーブル）でモニターに接続して下さい。

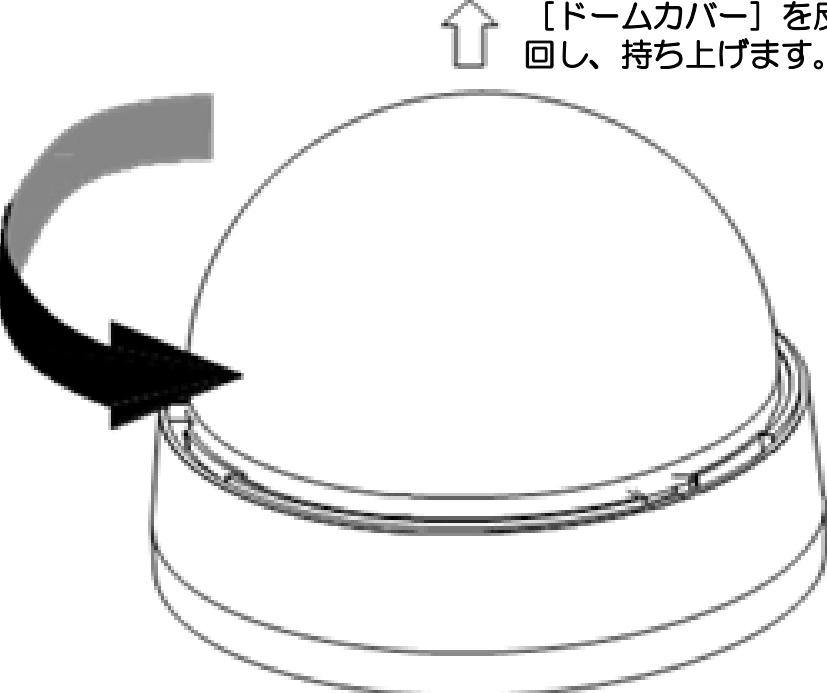
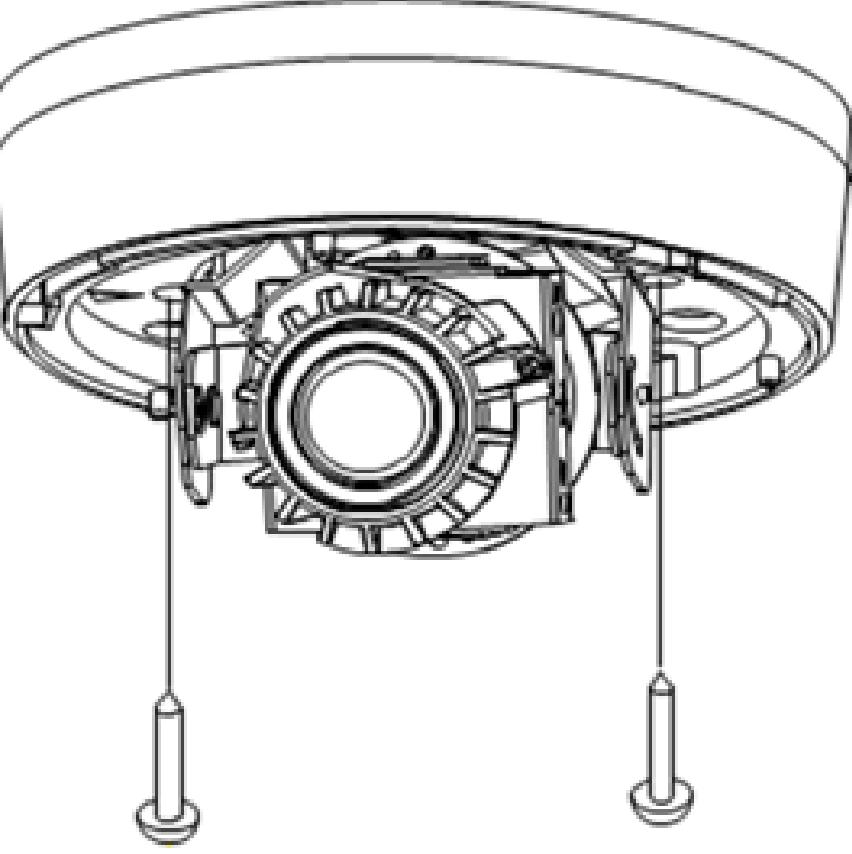
[電源端子]には、DC12V電源を接続してください。 （※推奨カメラ電源アダプター：SPA-110）

【使用上のご注意】

- ・電源重畠と電源別送とは併用しないでください。故障の原因となります。



4-2. 設置

1	<p>[ドームカバー]を外します。[ドームカバー]はカメラを真上から見た状態で反時計回りに20°程度回し、止まったところで持ち上げると外すことができます。</p>	 <p>[ドームカバー]を反時計回りに回し、持ち上げます。</p>
2	<p>付属の固定ネジ（2本）を使用して、カメラ本体を天井または壁面に取り付けます。</p> <p>【設置上のご注意】</p> <p>マークのある2箇所の穴を使って取り付けて下さい。</p> 	
3	<p>[レンズ]の向きを調整します。</p> <p>上下回転軸を固定しているネジ2本を緩めてから回転させてください。[レンズ]は3種類の軸に沿って回転しますので、設置環境に応じて調整して、上下調整軸固定ネジ2本を締めて固定してください。</p> <p>【参考】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各回転軸を調整する際、ケーブルが絡まったり切れたりしないよう、両方向に180°を超えて回転させないようにしてください。 	 <p>上下調整軸固定ネジ</p>

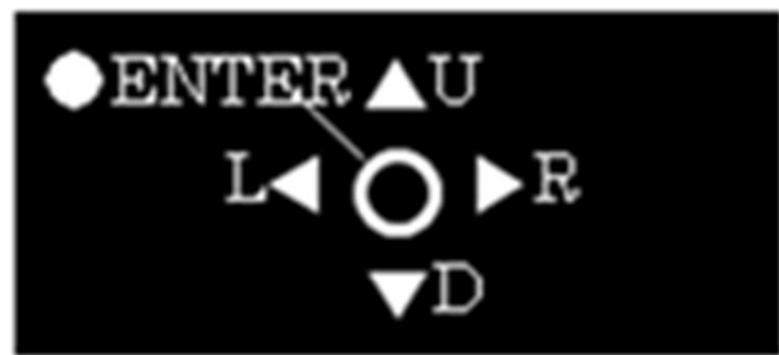
4	<p>画角・ピントを調整します。[レンズ]についている画角調整ネジ、ピント調整ネジを緩め、[レンズ]を左右に回転させてそれぞれ調整します。調整が終わったら、画角調整ネジ、ピント調整ネジを締めて固定してください。必要に応じてRCA端子に同軸ケーブルを挿し込み、現場調整用モニターに接続し、調整することができます。</p>	
5	<p>OSDメニューから必要なカメラ設定を行います。 (参照：13ページ「OSDメニュー」) 【参考】<ul style="list-style-type: none">・基本的には初期設定で撮影可能です。OSDメニューによる設定は必要に応じて行ってください。</p>	
6	<p>[ドームカバー]を取付けます。 [ドームカバー]と[ベース]を合わせ、カメラを真上から見て時計回りに20°程度回して止まったところで、固定できます。 【参考】<ul style="list-style-type: none">・[ドームカバー]を固定できたら、表面に張り付けてある透明保護シートをはがしてください。</p>	

【参考】

- ・ピントの調整は周囲が暗いときに行なうことをお薦めします。周囲が暗いとき、ピントが合っているように見える範囲が狭くなるので、より正確にピントを合わせることができます。周囲が明るいときにピント調整を行う場合、市販のNDフィルターをレンズ前面にかざして調整することで、同様の効果を得ることができます。

4-3. 出力信号切替

- 1 OSDメニュー操作ボタンを左、上、右に倒しながら電源供給を開始する事で、HD映像出力端子の出力信号を切り替える事が可能です。
各切り替えは、
左 L : CVBS
上 U : HD-TVI
右 R : AHD



【参考】

- 初期設定はHD-TVIになります。必要に応じて出力信号切替を行ってください。
- OSDメニューから出力信号を切り替える事が可能です。詳細は取扱説明書をご参考下さい。

【使用上のご注意】

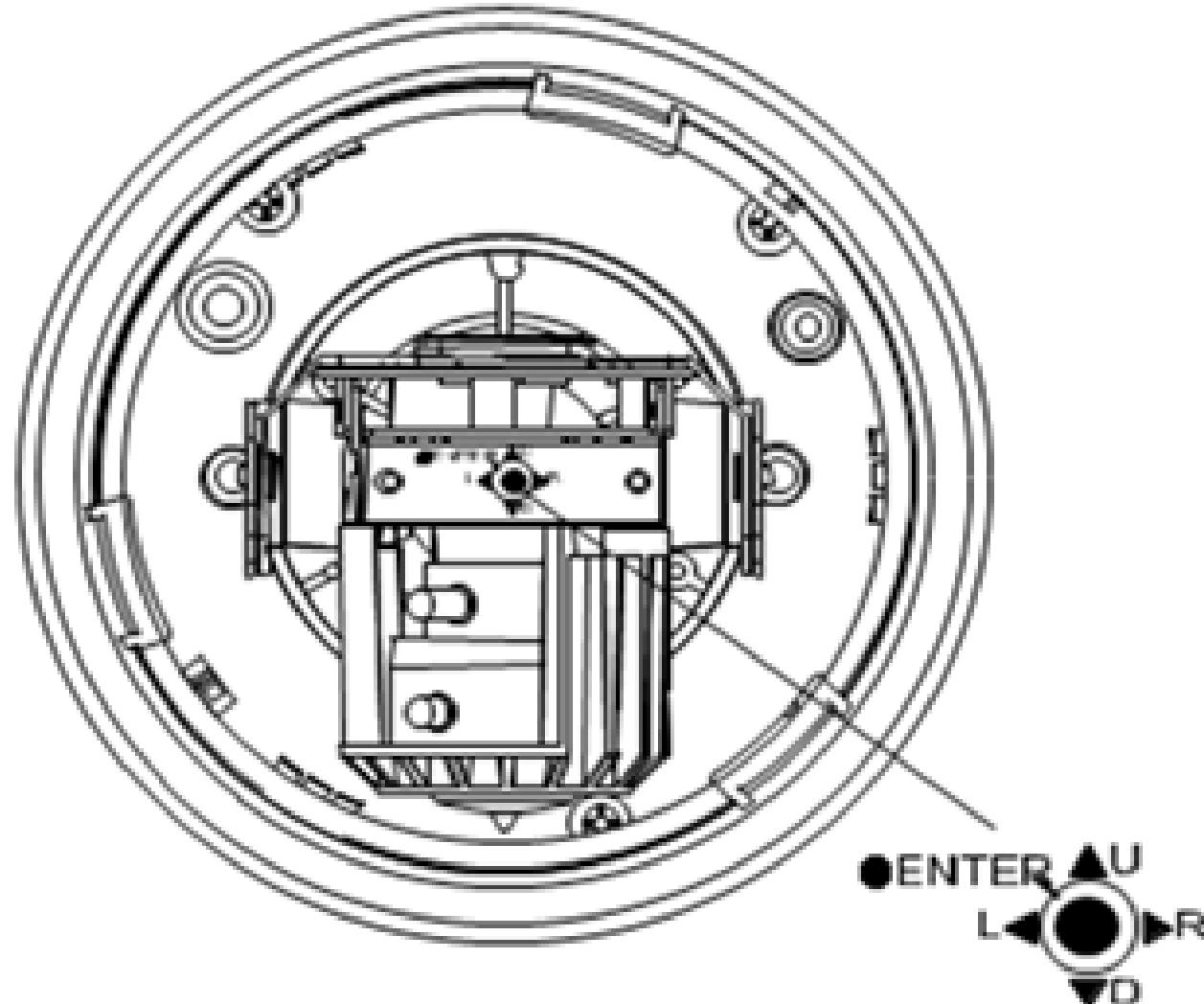
- アナログ信号端子(RCA)からアナログ信号を出力する時はHD映像出力端子で出力信号をCVBSに設定してください

5. OSDメニュー

5-1. OSDメニューの起動/ボタン操作

OSDメニューは本体にある[OSDメニュー操作ボタン]の[ENT]ボタンを押すと表示されます。

OSDメニューには、現在の設定状態が表示されます



[OSDメニュー操作ボタン]の機能は以下の通りです。

●	ENTER	• OSDメニューの呼び出し • OSDメニューの決定
▲	UP	• OSDメニュー カーソルの上への移動。
▼	DOWN	• OSDメニュー カーソルの下への移動。
▶	RIGHT	• 選択中のメニュー項目のモード切替 • 設定値の増加
◀	LEFT	• OSDメニュー カーソルの下への移動。 • 設定値の減少

5-2. OSDメニュー一覧

OSDメニュー項目は、以下の通りです。

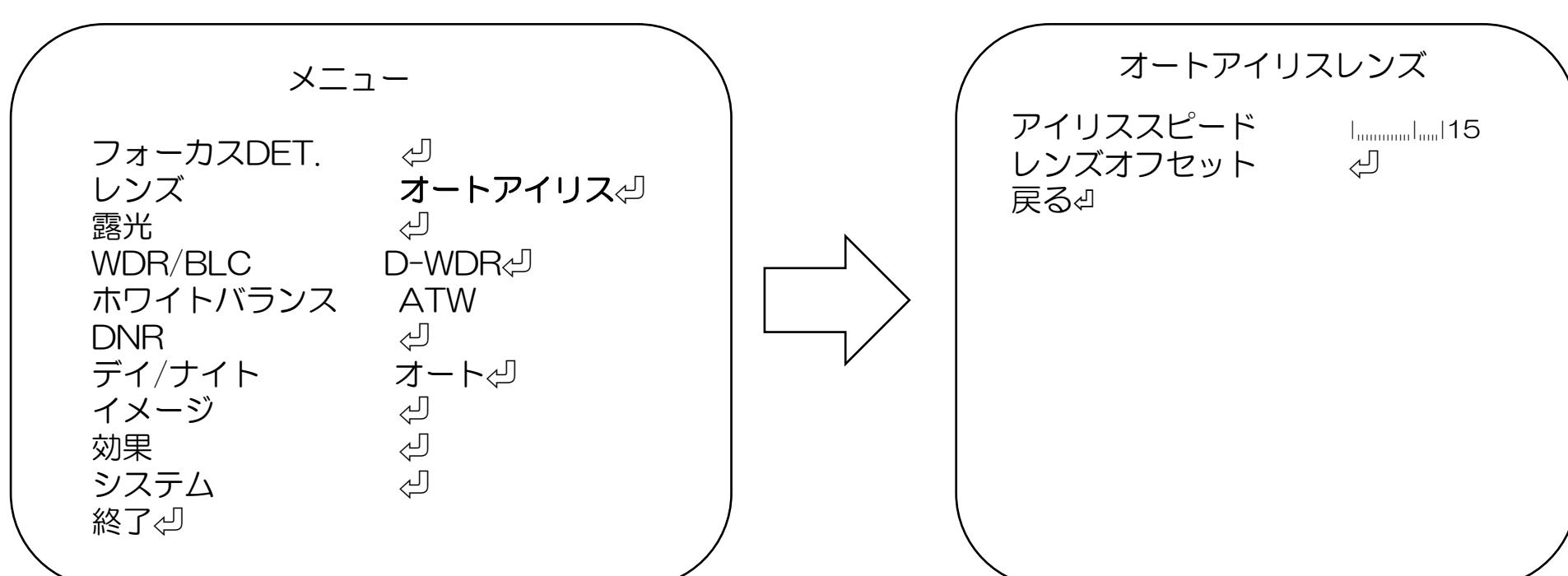
OSDメニューはカーソルを合わせ、左/右を入力することでそれぞれの画面を表示します。

メニュー画面

設定項目	内容	参照ページ
フォーカスDET.	フォーカス調整時使用。調整用棒グラフを表示	17ページ
レンズ	絞りの自動/手動の選択と詳細設定	17ページ
露光	輝度、シャッタースピード、感度アップ、AGC利得調整	18ページ
WDR/BLC	D-WDR、WDR、ハイライト補正、逆光補正	19ページ
ホワイトバランス	ホワイトバランスの方式を選択と調整	21ページ
DNR	ノイズリダクションの選択	22ページ
デイ/ナイト	自動切り替え、白黒/カラーの選択	23ページ
イメージ	画質調整とミラー反転、フリップ動作の選択	24ページ
効果	モーション検出、プライバシー設定、 フォグ緩和機能、等の設定	25ページ
システム	カメラの初期化、出力解像度、フレームレート等の設定	27ページ
終了	メニュー画面終了、設定を保存	28ページ

例えばメニューの [レンズ] 項目を選択してください。この場合[オートアイリス]の後に””マークのある項目は、詳細設定用サブメニューがあります。これらの項目は[ENTER]ボタンを押してサブメニュー画面を表示し、[UP],[DOWN],[LEFT],[RIGHT]ボタンで詳細設定をします。

[戻る]を選択し[ENTER]ボタンで一つ前の画面に戻ります



5-3. OSDメニュー項目と初期値一覧

OSDメニューの設定項目、設定値、初期値は、以下の通りです

出荷時設定（カメラ初期化）を実行した場合、各設定値は初期値に戻ります。

OSDメニュー項目		設定項目	設定値	太字の値は、サブメニュー項目の初期値を示す				初期値				
フォーカス DET.		オン(オートアイリス MAX)				オン((オートアイリス MAX)						
		オフ										
レンズ	オートアイリス	アイリススピード	0-20 (15)	スタート		NO/YES		オートアイリス				
		レンズオフセット	スタート			NO/YES						
		マニュアル										
露光		輝度	1-20 (10)					10				
		フリッカレス	オフ					オフ				
			オン									
		ANTIROLLING	オフ					オフ				
			オン									
		--- (フリッカレスオン時)										
		シャッタースピード	オート	シャッターMIN	(1/30s)	1/30s - 1/16000s	オート					
				シャッターMAX	(1/8000s)	1/60s - 1/30000s						
			マニュアル	デイ(カラー)	(1/30s)	1/30,1/60,1/120,1/180,1/240, 1/250,1/300,1/350,1/400,1/450, 1/500,1/600,1/750,1/1000, 1/1500,1/2000,1/4000,1/8000, 1/16000,1/30000 s						
				ナイト(B/W)	(1/30s)							
		--- (フリッカレスオフ時)										
		感度アップ	オフ/2X/4X/8X/16X/32X					オフ				
		--- (フリッカレスオフ時)										
		AGC MAX	0-20 (8)					8				
WDR/BLC		D-WDR	レベル	ロー/ミドル/ハイ/オフ				D-WDR				
		WDR	ROI	オフ								
				BOX	エリア選択	1~4	POLYGON					
					表示/非表示	オン/オフ						
					水平位置	0~2576						
					垂直位置	0~1456						
					水平サイズ	0~2576						
					垂直サイズ	0~1456						
		HLC	レベル	ロー/ミドル/ハイ								
			レベル	0-20 (10)								
			モード	終日/ナイト								
			カラー	ホワイト/ブラック								
ホワイトバランス		BLC	水平位置	0-20 (6)				ATW				
			垂直位置	0-20 (7)								
			水平サイズ	0-20 (10)								
			垂直サイズ	0-20 (12)								
		オフ										
		ATW										
		ブッシュロック	[ENTER]でホワイトバランスの調整をします。									
		マニュアル	KELVIN	ロー/ミドル/ハイ								
			R-GAIN	0-20 (10)								
			B-GAIN	0-20 (10)								
DNR		AWB										
		スマート DNR		オン/オフ				オフ				
		2DNR		ロー/ミドル/ハイ				ハイ				
		3DNR		ロー/ミドル/ハイ				ロー				
デイ/ナイト		オート	ライブレベル	0-20 (映像に依存)				オート				
			デイ -> ナイト	0-20 (8)								
			ナイト -> デイ	0-20 (5)								
			AGC MAX	0-20 (8)								
			ディレータイム(秒)	0-255 (5)								
			赤外線オプティマイザ	0-20 (3)								
		カラー										

OSD メニュー項目	設定項目	設定値 太字の値は、サブメニュー項目の初期値を示す			初期値
イメージ	シャープネス	0-10 (5)		オフ	5
	低照度シャープネス	0-10 (5)		エリア選択	1/2/3/4
	彩度	0-20 (15)		表示/非表示	オン/オフ
	低照度彩度	0-20 (15)		エリアカラー	0/1/2/3/4/5/6
	ガンマ	0.45/0.5/0.55/0.6/0.65		水平位置	0-60 (4)
	ミラー	オン/オフ		垂直位置	0-40 (5)
	フリップ	オン/オフ		水平サイズ	0-60 (25)
	ブラックレベル	0-20 (0)		垂直サイズ	0-40 (11)
				モーション表示	オン/オフ
効果	モーション DET.	検出表示	オン	感度	0-20 (18)
				アラーム	オン/オフ
				アラームタイム	0-20 (1)
				オフ	
				オフ	
				エリア選択	1-12 (1)
				表示/非表示	オン/オフ
				水平位置	0-80 (9)
				垂直位置	0-46 (6)
				水平サイズ	0-80 (5)
システム	プライバシー	オン		垂直サイズ	0-46 (5)
				Yレベル	0-20 (3)
				CB レベル	0-20 (10)
				CR レベル	0-20 (10)
				デジタルズーム	1.0X-16.0X (1.0X)
					1.0X
				オフ	
				オン	モード
					オート/マニュアル
				レベル	ミドル/ハイ/ロー
システム	ビデオ出力			2560×1944 5M 20FPS	2560×1440 4M 30FPS
				2560×1440 4M 30FPS	
				1920×1080 2M 30FPS	
				ビデオモード	TVI(2/4/5M)、CVI(2/4M)、AHD(2/4/5/M)、CVBS(960H)16:9 ⇌ 4:3
	システム			システム	NTSC 60Hz / 50Hz PAL
				カメラ制御(CoC)	オン/オフ
				カラーバー	オン/オフ
				ケーブル長	0-200M / >200M
				言語	日本語/ENGLISH/中国(繁)/中国(簡)
				リブート	NO/YES
				FW	ファームウェア情報を表示
				カメラ初期化	NO/YES
				終了	NO

5-4. OSDメニュー設定

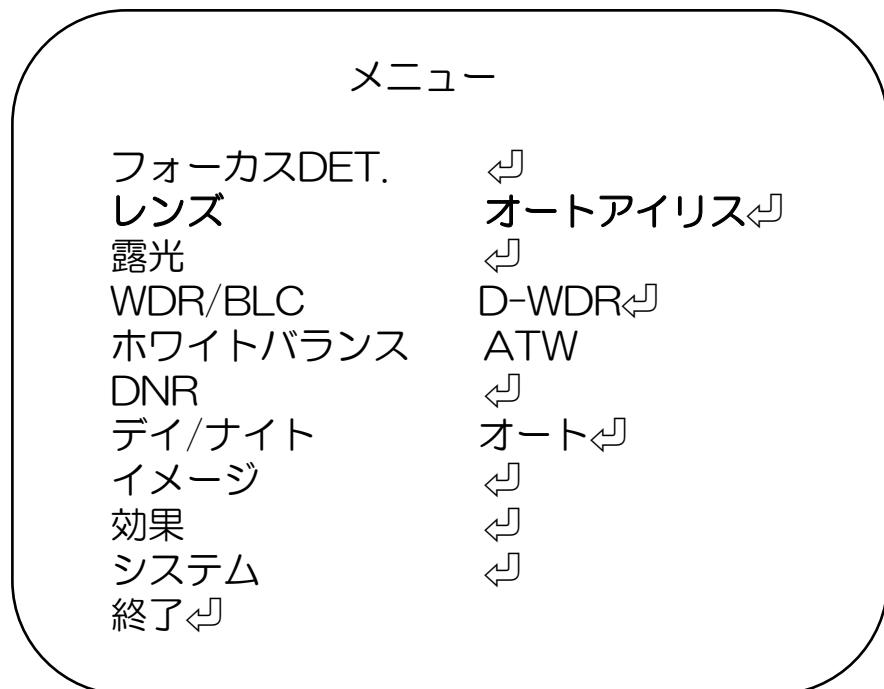
OSDメニュー画面が表示されたら、[UP]/[DOWN]ボタンで該当する項目に合わせ、[LEFT]/[RIGHT]ボタンで設定する内容を選択します。

① フォーカスDET.

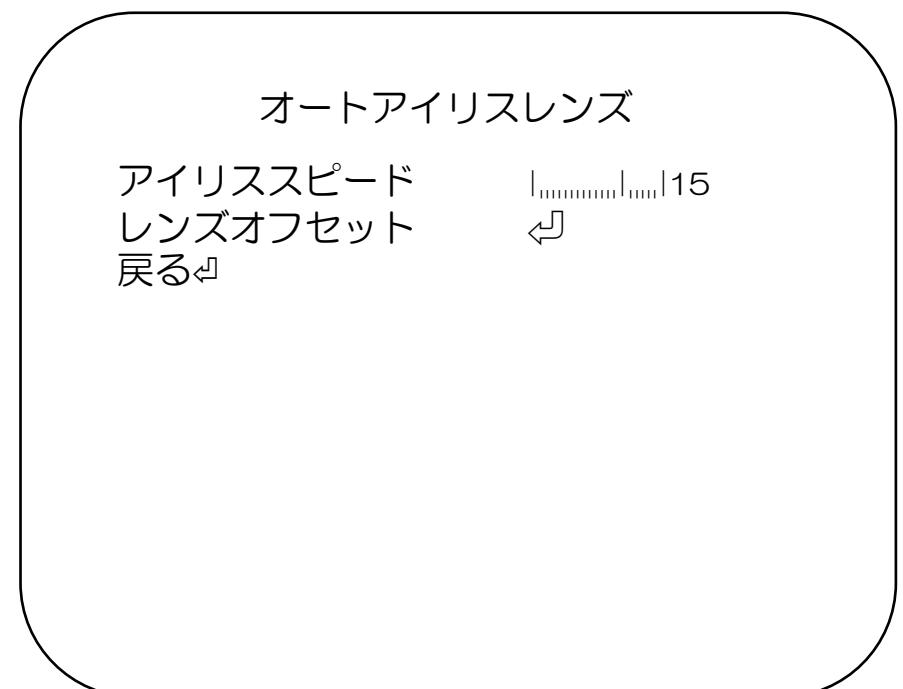
カメラのピント調整に使うことができます。(設定値：オン(オートアイリスMAX)/オフ

② レンズ

レンズのオートアイリスを設定します。



メニュー画面



オートアイリス詳細設定画面

使用するレンズに応じて下記を選択します。

”オートアイリス”：DCオートアイリスレンズを使う場合に設定します。

”マニュアル”：マニュアルレンズとの組合せで使う場合に設定します。

*”オートアイリス”

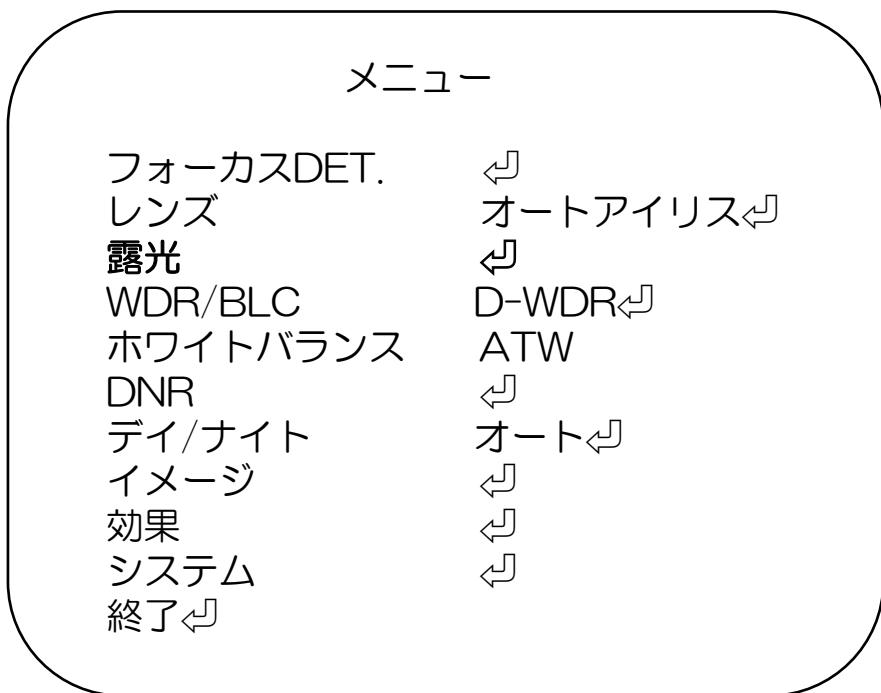
-アイリスピード：アイリスの反応速度を調整します。(設定値：0~20)

-レンズオフセット：スタート、YESで自動調整します。

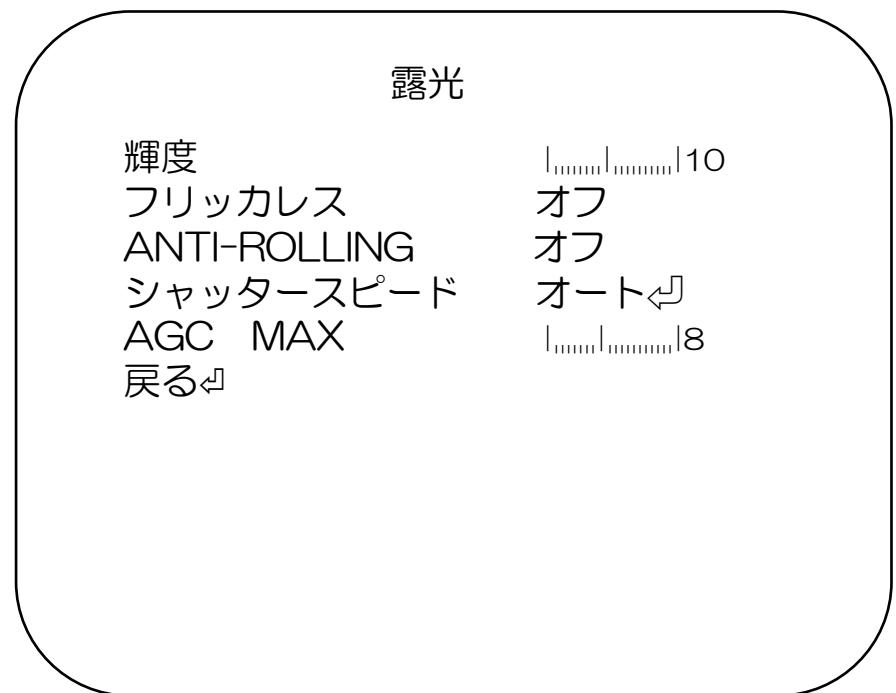
【参考】本機は、Videoオートアイリスレンズには対応しておりません。

③露光

映像の明るさとシャッタースピードを設定します



メニュー画面



露光詳細設定画面

-輝度：映像の明るさを調整します。(設定値：0~20)

-フリッカレス：フリッカレスの設定をします。(設定値：オフ/オン)

※フリッカレスの設定がオンの時には、ANTI-ROLLING と シャッタースピードの調整は出来ません。

-ANTI-ROLLING：ローリングシャッターによる影響緩和の設定 (設定値：オフ/オン)

-シャッタースピード：モードを選び[ENTER] (設定値：オート/マニュアル)

・ “オート”：明るさに応じて自動的にシャッタースピードを設定します。

・ “マニュアル”：手動でシャッタースピードを設定します。

(設定値： 1/30,1/60,1/120,1/180,1/240, 1/250,1/300,1/350,1/400,1/450, 1/500,1/600,1/750,1/1000,1/1500,1/2000,1/4000,1/8000,1/16000,1/30000 s)

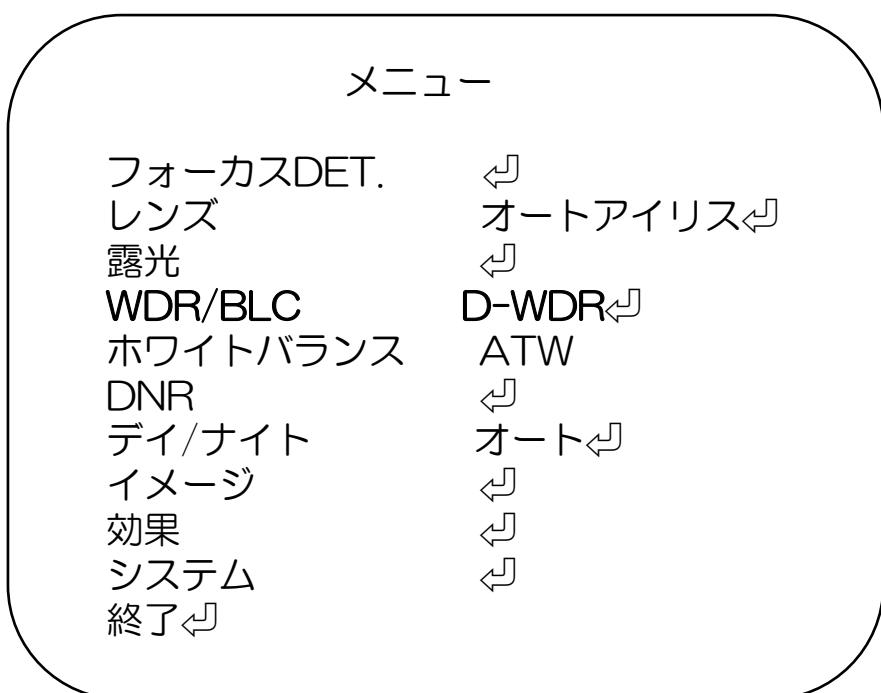
-感度アップ：撮影光に対する感度倍率を設定します。(設定値：オフ/2X/4X/8X/16X/32X)

-AGC MAX：暗いところでの撮影時、自動的に感度UPする最大値を設定。(設定値：0~20)

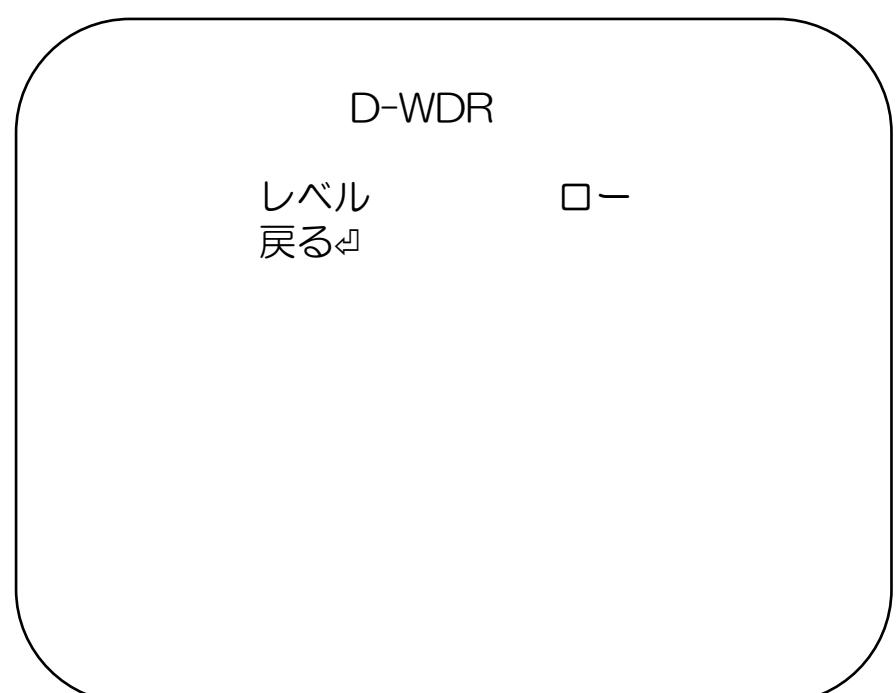
注：設定値を大きくするほど暗い画面を明るく出来ますが、ノイズも増加します。

④WDR/BLC

WDR (ワイドダイナミックレンジ) 機能、逆光補正、ハイライト補正を設定します。



メニュー画面



HDR詳細設定画面

画像補正機能を選択します。

”D-WDR”：デジタルワイドダイナミックレンジの設定をします。

明暗差がある場所で使用する場合、明暗領域の両方をデジタル処理にて見やすい映像になります。

”WDR”：ワイドダイナミックレンジレベル設定します。

より広い明るさの幅（ダイナミックレンジ）を表現する映像になります。

”HCL”：強い光の部分をマスクし、撮像画面全体が暗くなる現象を抑制します。

”BLC”：逆光となる位置とエリアを設定し逆光による撮像対象への影響を低減します。

”オフ”：補正機能を使用しません。

*”D-WDR”

-レベル：補正の強弱を調整します。（設定値：オフ/ロー/ミドル/ハイ）

*”WDR”

-ROIモード（設定値：オフ/BOX/POLYGON）

「BOX」を選択すると

エリア選択 1～4

表示/非表示 オン/オフ

水平位置 エリアの水平位置を設定、値が大きい程画面右になります。（設定値：0～2576）

垂直位置 エリアの垂直位置を設定、値が大きい程画面下になります。（設定値：0～1450）

水平サイズ：エリアの水平サイズ（横幅）を設定、値が大きい程大きくなります。

（設定値：0～2576）

垂直サイズ：エリアの垂直サイズ（縦幅）を設定、値が大きい程大きくなります。

（設定値：0～1456）

「POLYGON」を選択すると

エリア選択 1～4

表示/非表示 オン/オフ

POS 0～POS 3それぞれ

×位置 エリアのX位置を設定。（設定値：0～2576）

Y位置 エリアのY位置を設定。（設定値：0～2576）

-レベル（設定値：ロー/ミドル/ハイ）

*”HCL”

-レベル：抑圧レベルを設定します。（設定値：0～20）

-モード：動作する時間帯を指定します。（設定値：終日/ナイト）

*”BLC”

-水平位置：エリアの水平位置を設定、値が大きい程画面右側になります。（設定値：0～20）

-垂直位置：エリアの垂直位置を設定、値が大きい程画面下側になります。（設定値：0～20）

-水平サイズ：エリアの水平サイズ（横幅）を設定、値が大きい程大きくなります。

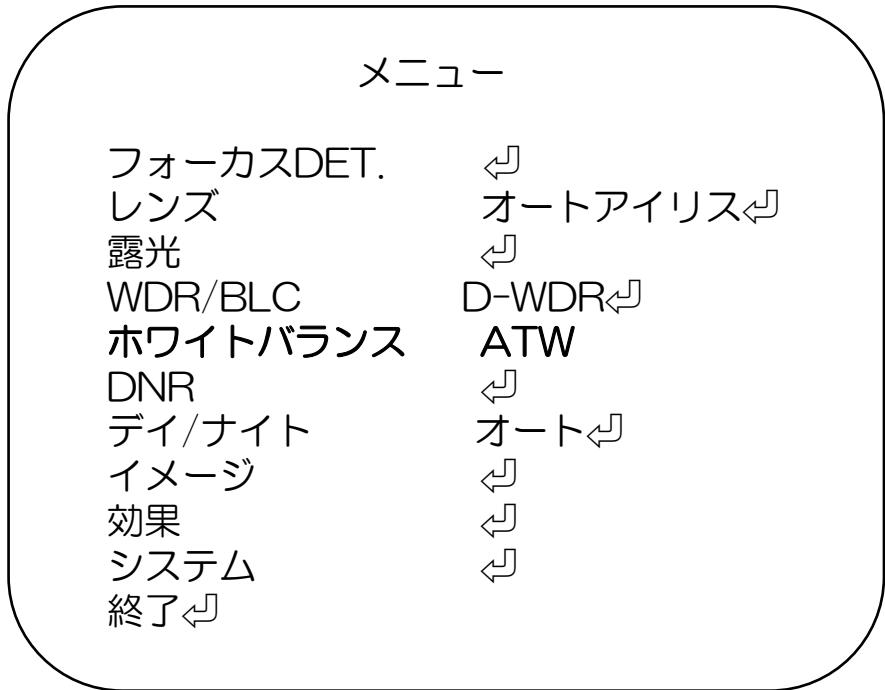
（設定値：0～20）

-垂直サイズ：エリアの垂直サイズ（縦幅）を設定、値が大きい程大きくなります。

（設定値：0～20）

⑤ホワイトバランス

ホワイトバランスを調整（画面の色調整）します。



メニュー画面

使用する環境に応じて選択します。

” ATW” : オートトラッキングホワイトバランス(Auto Tracking White Balance)

色温度が追従範囲の中でホワイトバランスを自動追従し調整します。

” プッシュロック” : 動作環境下で白を設定し、ホワイトバランスを固定します。

最適な設定を行うには、ご使用の環境でカメラを白紙に向け画面全体に写して下さい。[ENTER]ボタンを押すと “調整中. . .” のメッセージが表示され、数秒後に完了時 “OK” のメッセージが表示された後、メニュー画面に戻ります。環境が変化した場合、再度同じ方法で調整してください。

” マニュアル” : マニュアルで、色温度と赤レベル、青レベルの値を増減する事により、撮影環境に合わせた最適な調整が可能です。

” AWB” : オートホワイトバランス (Auto White Balance) 調整します。

「マニュアル」

-KELVIN : 撮影環境の色温度に合わせて設定します。(設定値：ロー/ミドル/ハイ)

-R-GAIN : 調整値を高く設定すると赤が強くなります。(設定値：0~20)

-B-GAIN : 調整値を高く設定すると青が強くなります。(設定値：0~20)

【参考】

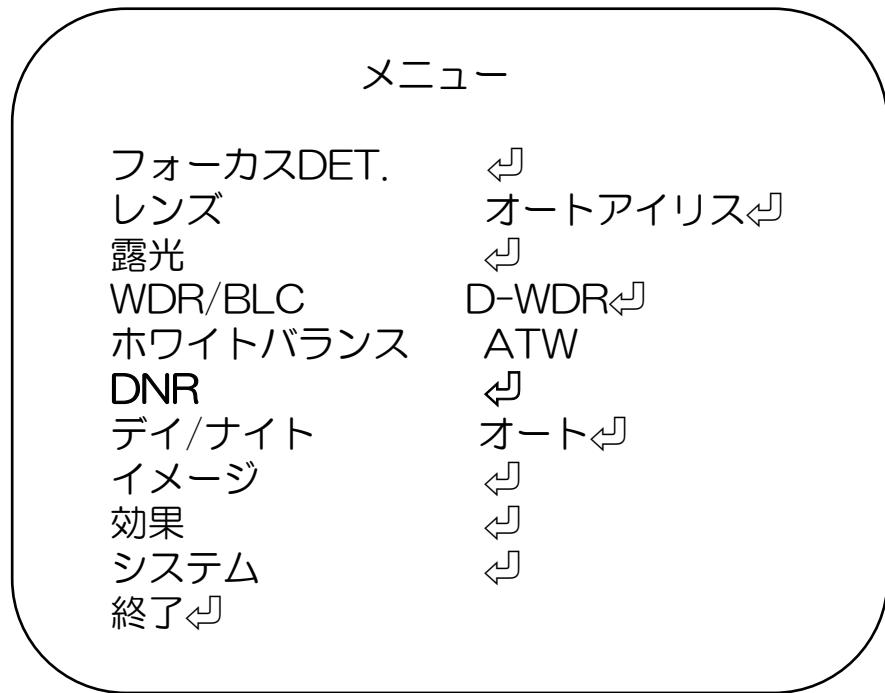
以下のような環境でホワイトバランスが完全に調整できない場合、

“プッシュロック”を使用してください。

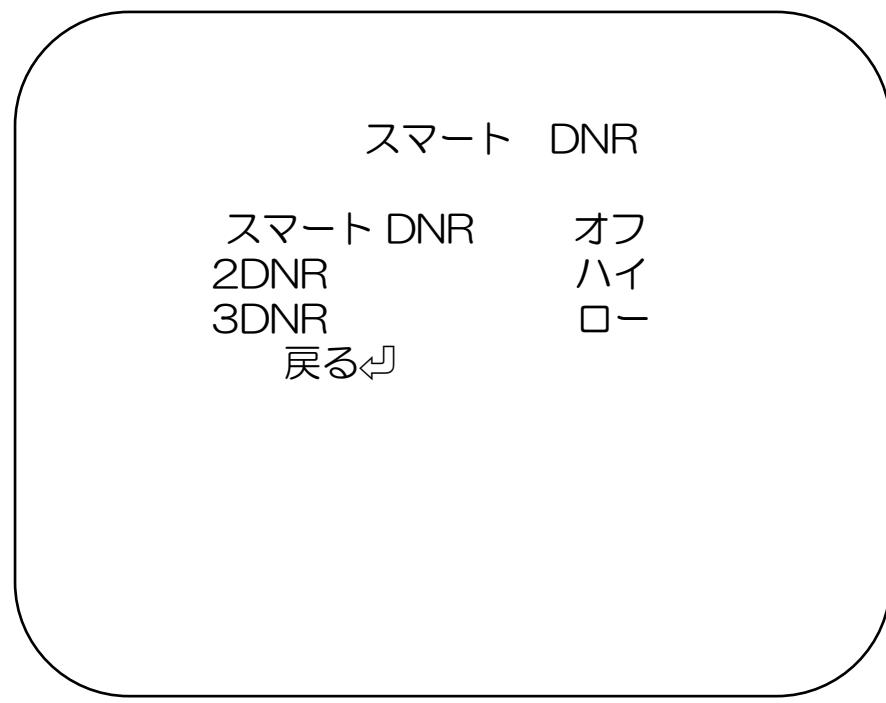
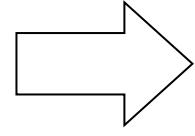
- ・色温度が非常に高い環境の場合
- ・暗闇に囲まれている環境の場合
- ・常に光が変わるような蛍光灯環境の場合
- ・特定の色にかたよっている環境の場合

⑥DNR

DNR（デジタルノイズリダクション）を設定します



メニュー画面

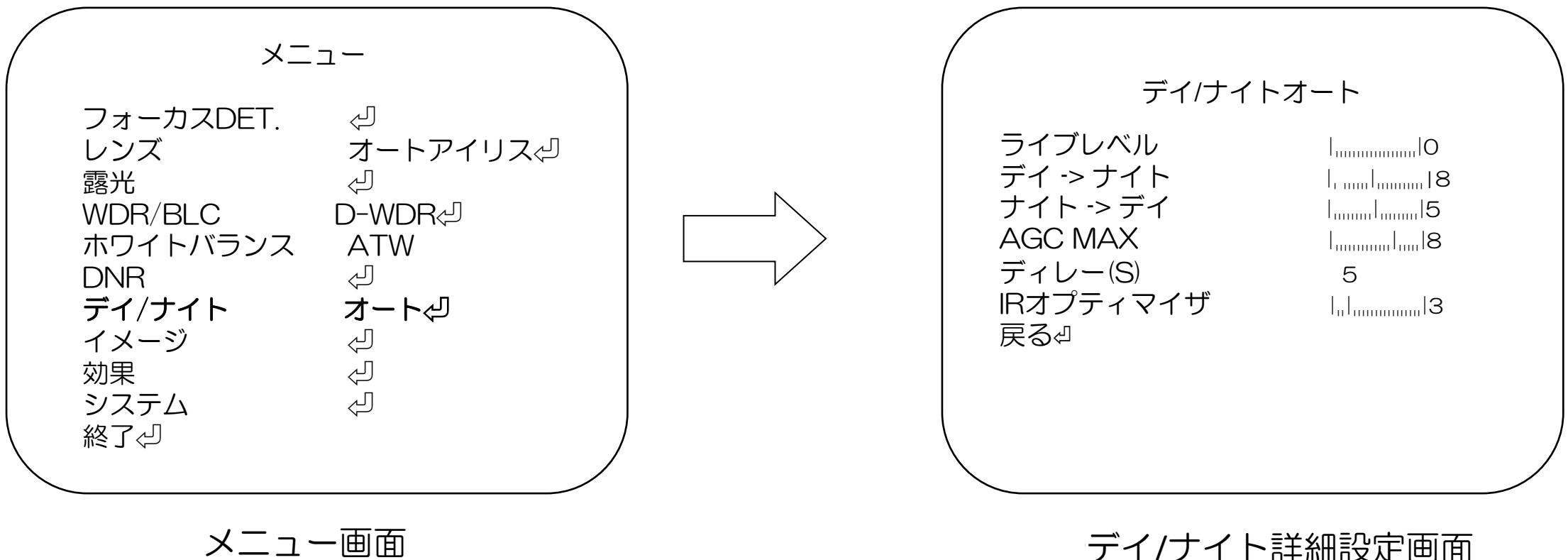


DNR詳細設定画面

- スマート DNR : DNRの自動調整を設定します。 (設定値：オン/オフ)
- 2DNR : 2次元のDNRの強弱を設定します。 (設定値：ロー/ミドル/ハイ)
- 3DNR : 3次元のDNRの強弱を設定します。 (設定値：ロー/ミドル/ハイ)

⑦デイ/ナイト

デイ/ナイト設定をします



”オート”：センサーに入力される照度で自動的にデイ/ナイトの切り替えをします。

”カラー”：明るさに関係なくカラー映像になります。

”B/W”：明るさに関係なく白黒（B/W）映像になります。

”赤外線同調”：（このカメラでは使用しません。）

”デイ/ナイトオート(オート)”

-ライブレベル：センサーに入力されている照度を表示します。（設定値：0～20）

-デイ->ナイト：デイからナイト モードへの切替り閾値を設定します。（設定値：0～20）

-ナイト->デイ：ナイトからデイ モードへの切替り閾値を設定します。（設定値：0～20）

-AGC MAX：AGC の最大設定をします。（設定値：0～20）

-ディレー(S)：デイ/ナイトの切替え判定を受けてから、切替えを実行するまでの時間を設定します。（設定値：0～255）

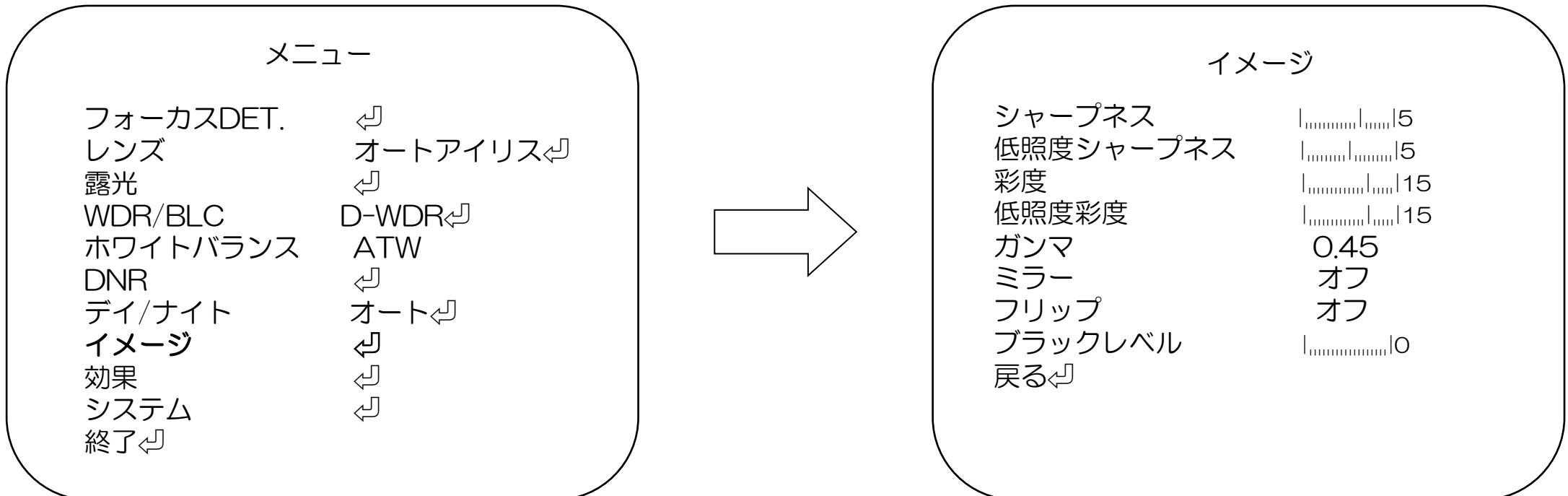
-IRオプティマイザ：（このカメラでは使用しません。）

”B/W”

-IRオプティマイザ：（このカメラでは使用しません。）

⑧イメージ

イメージ（画像）設定をします。



メニュー画面

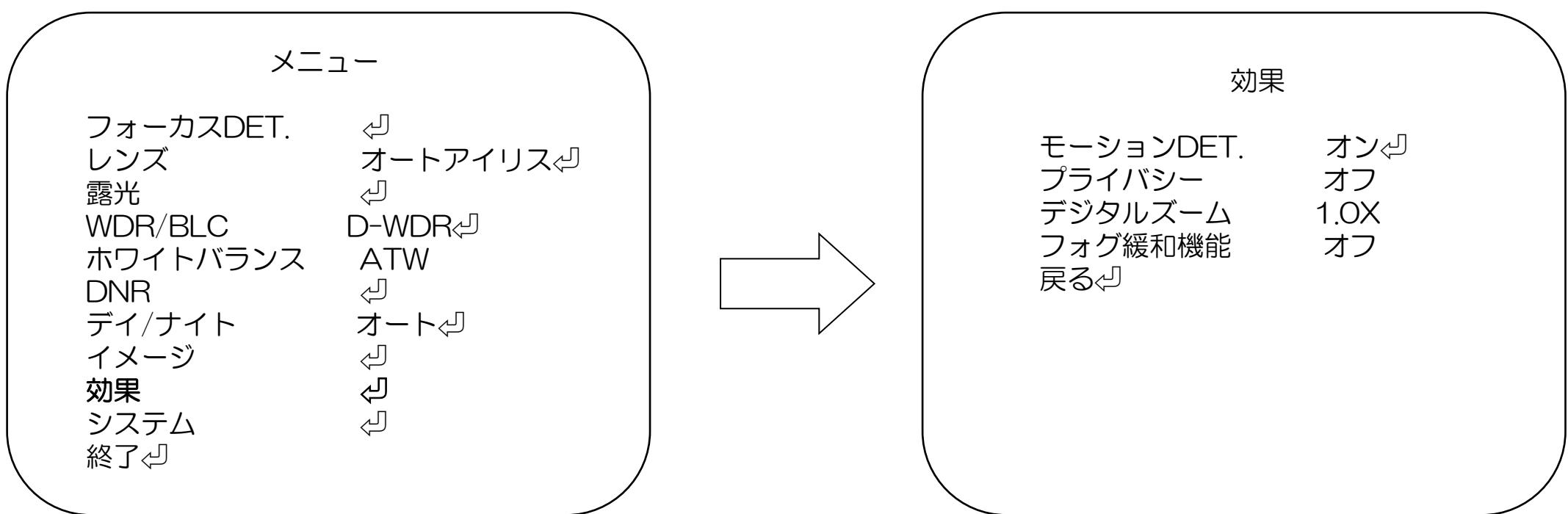
イメージ詳細設定画面

- ”シャープネス” : シャープネスを設定します。 (設定値 : 0~10)
- ”低照度シャープネス” : 暗い映像でのシャープネスを設定します。 (設定値 : 0~10)
- ”彩度” : 色の彩度の設定をします。 (設定値 : 0~20)
- ”低照度彩度” : 暗い映像での色の彩度の設定をします。 (設定値 : 0~20)
- ”ガンマ” : ガンマを設定します。 (設定値 : 0.45/0.5/0.55/0.6/0.65)
- ”ミラー” : 映像の左右反転を設定します。 (設定値 : オン/オフ)
- ”フリップ” : 映像の上下反転を設定します。 (設定値 : オン/オフ)
- ”ブラックレベル” : 映像全体を明るくします。 全体に暗い環境で使うと画面が明るくなります。

(設定値 : 0~20)

⑨効果

プライバシー設定、電子ズーム、フォグ緩和機能を設定します。



メニュー画面

効果詳細設定画面

”モーションDET.”：監視している映像で変化がある部分を検出して、
監視画面に赤枠で表示します。(設定値：オン/オフ)

モーション画面で検出表示、感度等を設定します。

”プライバシー”：映像の一部をマスクする時に設定します。
(設定値：オン/オフ)

”デジタルズーム”：デジタルズーム倍率を設定します。(1.0~16X)

”フォグ緩和機能”：フォグ緩和機能を設定します。(設定値：オン/オフ)

モーションDET.	
検出表示	オフ
モーション表示	オフ
感度	18
アラーム	オフ
アラームタイム	1
戻る↔	

モーションDET.画面

”モーションDET”

-検出表示：監視画面に検出範囲と検出された箇所を表示する機能です。(設定値：オン/オフ)

“オン”に設定し[ENTER]を押すと「モーションエリア」画面になります。

「モーションエリア」画面

>エリア選択：エリアを選択します。(設定値：1/2/3/4)

選択したエリアは「黄色」枠で表示

>表示/非表示：選択されたエリアの表示・非表示を設定。

非表示にすると、モーション検出の表示が
出なくなります。(設定値：オン/オフ)

>エリアカラー：エリア以外の枠を設定します。

(設定値：1/2/3/4/5/6)

>水平位置：選択されたエリアの水平位置を設定します。

大きい程画面右側になります。(設定値：0~60)

>垂直位置：選択されたエリアの垂直位置を設定します。

大きい程画面下側になります。(設定値：0~40)

>水平サイズ：横幅を設定します。(設定値：0~60)

>垂直サイズ：縦幅を設定します。(設定値：0~40)

モーションエリア	
エリア選択	1
表示/非表示	オン
エリアカラー	2
水平位置	4
垂直位置	3
水平サイズ	25
垂直サイズ	11
戻る↔	

モーションエリア画面

-モーション表示：(設定値：オン/オフ) オンにするとモーションを検出した際に
『モーションオン！！！』という文字が画面中央下側に表示されます。

-感度：モーション検出感度を設定します。(設定値：0～20)
低い方がより少ない変化で反応します。

-アラーム：この機種では使用しません。

-アラームタイム：この機種では使用しません。

”プライバシー”

カメラを設置した後、映像として監視しないエリアを設定します。(設定値：オン/オフ)

“オン”に設定し[ENTER]を押すと監視しない範囲を設定する「プライバシー」画面になります。

「プライバシー」画面

-エリア選択：エリアを選択します。(設定値：1～12)

-表示/非表示：選択されたエリアの表示、非表示を
設定します。(設定値：オン/オフ)

-水平位置：選択されたエリアの水平位置を設定します。
数値が大きい程画面右側になります。(設定値：0～60)

-垂直位置：選択されたエリアの垂直位置を設定します。
数値が大きい程画面下側になります。

(設定値：0～40)

-水平サイズ：選択されたエリアの水平サイズ（横幅）を
設定します。値が大きい程サイズが大き
なります。(設定値：0～40)

-垂直サイズ：選択されたエリアの垂直サイズ（縦幅）を
設定します。値が大きい程サイズが大き
なります。(設定値：0～40)

-Yレベル：選択されたエリアの明るさを設定します。
値が大きい程白くなります。(設定値：0～20)

-CBレベル：選択されたエリアの青い色を設定します。
値が大きい程青くなります。(設定値：0～20)

-CRレベル：選択されたエリアの赤い色を設定します。
値が大きい程赤くなります。(設定値：0～20)

” フォグ緩和機能”

コントラストの設定により霧や霞がかかった時により見やすい映像になります。
(設定値：オン/オフ)

“オン”に設定し[ENTER]を押すと

-モード：補正機能の動作方法を設定します。(設定値：オート/マニュアル)

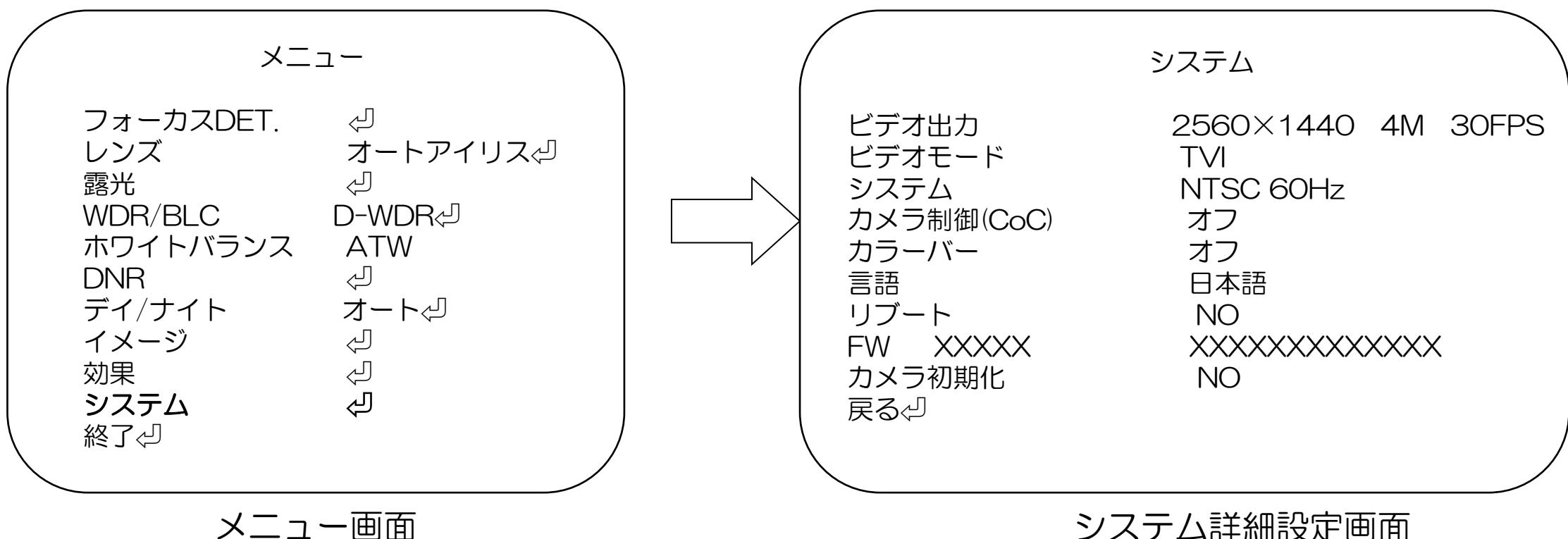
-レベル：補正機能の強弱を設定します。(設定値：ロー/ミドル/ハイ)

プライバシー	
エリア選択	1
表示/非表示	オン
水平位置	9
垂直位置	6
水平サイズ	5
垂直サイズ	5
Yレベル	3
CBレベル	10
CRレベル	10
戻る	↙

プライバシー詳細設定画面

⑩システム

カメラ初期化やHD-TVI出力の解像度選択ができます。



メニュー画面

システム詳細設定画面

-ビデオ出力：カメラの出力解像度を選択します。

設定値：2560×1944 5M 20FPS

2560×1440 4M 30FPS

1920×1080 2M 30FPS

-ビデオモード：HD信号端子/電源重畠端子の出力信号方式を選択します。

(設定値：TV1080P/AH1080P/CVBS)

-システム：映像出力のフレームレートを選択します。(設定値：NTSC 60Hz/50Hz PAL)

-カラーバー：映像出力の色合い等の調整するためにカラーバー出力に切り替えます。

(設定値：オン/オフ)

-ケーブル長：0-200M / >200M

-言語：言語を設定します。(設定値：ENGLISH/日本語/中国（繁）/中国（簡）)

-リブート：カメラの立ち上げ直しを行います。(設定値：YES/NO)

実行するには“YES”で[ENTER]ボタンを押します。

-FW：ファームウェア情報を表示します。

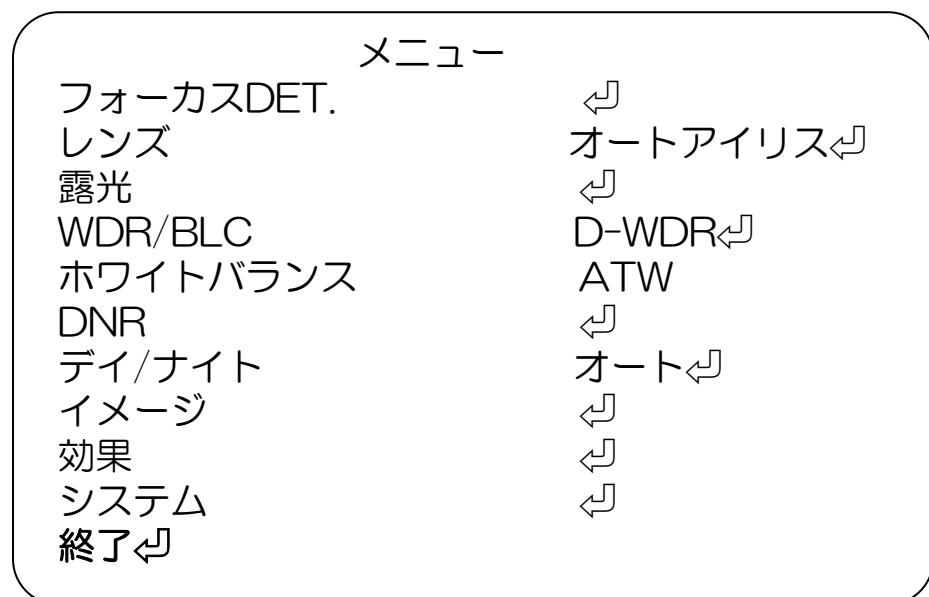
-カメラ初期化：カメラの初期化をします。(設定値：YES/NO)

“YES”で[ENTER]ボタンを押します。

“カメラ初期化OK”表示後、システム詳細設定画面に戻ります。

⑪終了

- OSDメニュー画面での設定終了後、[UP]/[DOWN]ボタンで”終了”に合わせ、[ENTER]ボタンで終了します。
「データ保存中」のメッセージが表示され、タイムアウトします。
※この操作をしないと設定変更の内容は保存されません。



メニュー画面

6. 故障かな？

修理をご依頼される前に、以下の表で症状をご確認ください

症状	調べる箇所・対策	参照ページ
映像が映らない。	同軸ケーブルが正しく接続されていますか？ →接続を確認してください。	10ページ
映像が暗い。	“露光” → “輝度”の値が低くなっていますか？ →適切な値に調整してください。	18ページ
映像がちらつく。	電源周波数が50Hz地域にてちらつきが発生する場合、“シャッタースピード”を“フリッカーレス”に設定してください。	18ページ
CVBSモードで HDR/逆光補正メ ニュー内”D- WDR”と“ハイラ イト補正”の間の遷 移で映像が出ていな い。	CVBS設定の時は“HDR”に相当する遷移ポジションでは、システム制限のため映像出力しませんが、故障ではありません。	19ページ
映像が白黒になる。	“デイ/ナイト”を“赤外線同調”にしている場合、暗い場所では自動的に白黒撮影に切り換ります。 白黒撮影を行いたくない場合、“デイ/ナイト”を“カラー”にして下さい。	23ページ
色調がおかしい (赤味がかっている、 青味がかっている)。	“ホワイトバランス”を設定しなおしてください。	21ページ

7. 仕様/外形寸法図

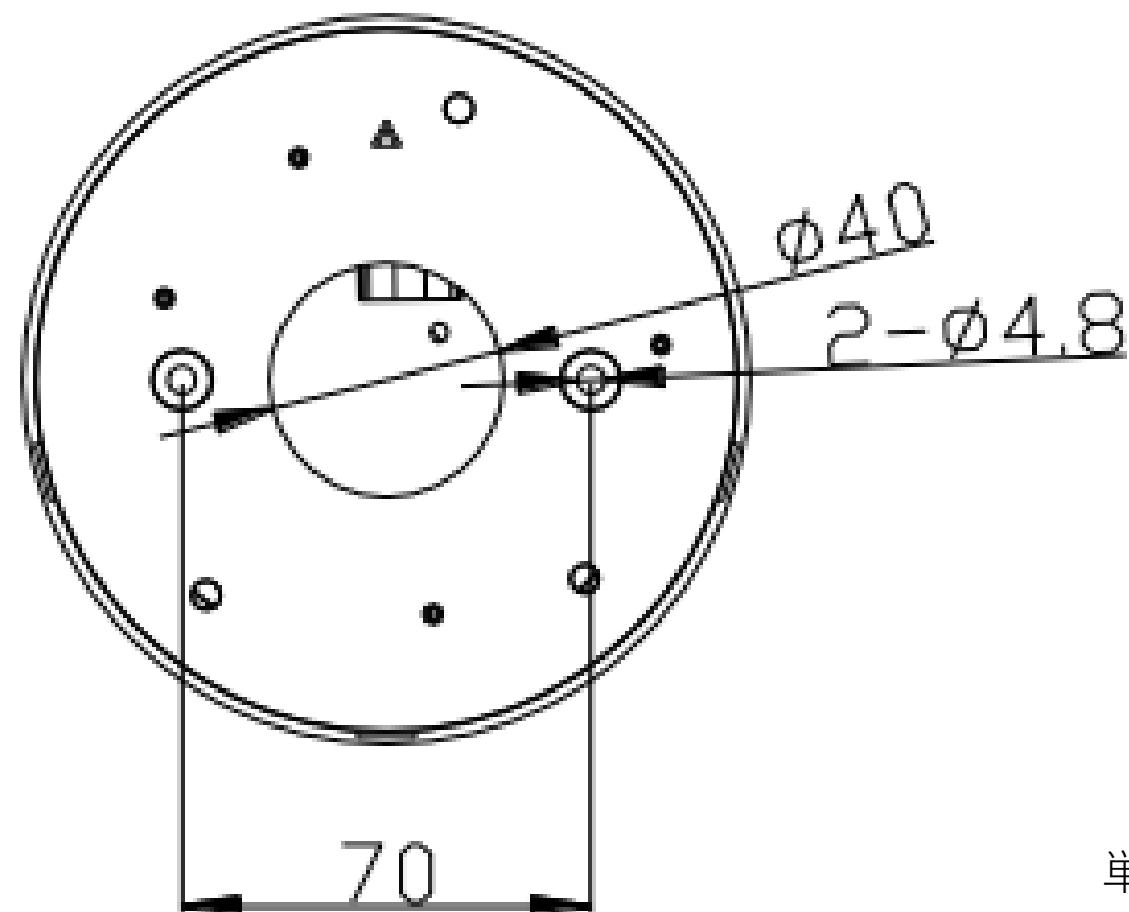
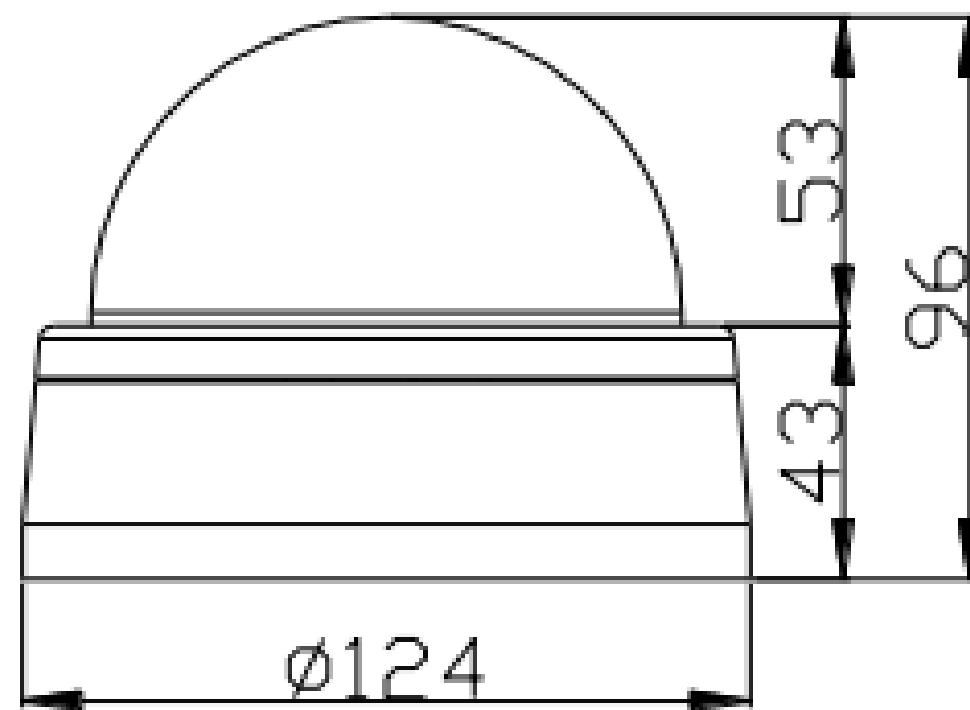
【仕様】

商品名	HD-TVI 5M/4Mドーム型カメラ
型式	SCD-T1450
カメラ部	
撮像素子	1/2.8" Sony 5M STARVIS Sensor
有効画素数	約500万画素、2560(水平)×1944(垂直) 4:3 約400万画素、2560(水平)×1440(垂直) 16:9 約200万画素、1920(水平)×1080(垂直) 16:9
フレームレート(最大)	2560×1944 20p / 2560×1440 30p
HDアナログ出力 (HD-TVI/AHD/CVBS)	1.0Vp-p 75Ω (BNC),
SDアナログ出力(NTSC)	1.0Vp-p 75Ω (RCA)
最低被写体照度	0.001 lx(F=1.4)
ホワイトバランス	ATW/AWB/プッシュロック/手動
デジタルノイズリダクション	2D/3D ハイ/ミドル/ロー/オフ
画像補正	D-WDR/WDR/BLC/HLC/オフ
フォグ補正	オン/オフ
電子シャッター	フリッカーレス/オート(1/30~1/30,000)/マニュアル(1/30~1/30,000)
AGC	0~20
モーション検知	ON(4箇所)/OFF
プライバシーマスク	ON(12箇所)/OFF
デイナイト	オート/カラー/白黒
画像反転	オフ/上下反転/左右反転/上下左右反転
レンズ部	
焦点距離	2.8~12 mm
画角	水平: 90° ~26° 、垂直: 59° ~15°
最大口径比	F=1.4

一般仕様

電源	専用カメラ駆動ユニットより供給またはDC12V（併用不可）
消費電力	2.4W（最大）
使用温度範囲	-10°C～+50°C
使用湿度範囲	20%～80%RH（結露なきこと）
外形寸法	D124×H96 mm（突起部含まず）
質量	約 415g
材質	ABS樹脂(本体部)、ポリカーボネート樹脂(ドーム部)
付属品	クイックインストレーションガイド、安全上のご注意、保証書、取付用 4X25タッピングビス×2

【外形寸法図】



単位：mm

【製品に関するお問い合わせ先】

セルコ株式会社 カスタマサポート室

E-mail : info@selco.ne.jp

TEL : 075-501-0070 (代表) FAX : 075-592-4275

セルコ株式会社

〒607-8326

京都市山科区川田御出町14番3

TEL : 075-501-0070 (代表)

FAX : 075-592-4275

AT-687-88 B